

令和5年度 飯塚市事務事業評価シート

令和 6 年 8 月 2 日 作成

事務事業名	し尿収集及びし尿処理手数料収納業務	事務事業No.	732 - 8
-------	-------------------	---------	---------

1. 基本情報						
担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
市民環境部	環境対策課 環境センター	総務係	主任	高木 光	所長	寺敷 和博
施策体系	総合計画	政策	7	自然環境		
		施策	3	環境にやさしいまちづくり		
		基本事業	2	3R（ごみの発生抑制・再使用・再生利用）の推進		
	その他の計画	個別計画	一般廃棄物処理実施計画			
根拠法令・条例・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号) 飯塚市廃棄物の減量及び処理の適正化等に関する条例第18条					
事業開始年度	昭和45年	事業終了年度	継続	事務事業類型	義務的事業（市に裁量の余地があるもの）	
実施手法	全部直営	補助金等の支給	なし	実施計画期間	該当なし	

2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）	
概要	直営によるし尿収集業務を行うために、必要な経費（旧飯塚市の一部区域）
対象	働きかける相手・もの し尿くみ取り申込み世帯
手段	方法・働きかけ（活動指標） し尿収集、し尿処理手数料徴収
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標） し尿くみ取りの適切な実施

3. 活動指標（決算成果説明書と連動）					
指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
収集件数	件	月別収集件数×12カ月	18,151	17,686	17,916
し尿処理手数料	千円	月別調定金額×12カ月+過年度分	53,617	54,094	52,905
口座振替の推進	件	年間口座振替件数（実施分）	14,675	13,515	14,196

4. 成果指標（決算成果説明書と連動）							
指標	し尿処理手数料 徴収率	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
		%	100	目標値	100	100	100
説明	し尿処理手数料の徴収（決算ベース）過年度分含む	方向性	達成目標年度	実績	99.77	99.84	
		維持	毎年度				
指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
				目標値			
説明		方向性	達成目標年度	実績			
指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
				目標値			
説明		方向性	達成目標年度	実績			

5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）										
経費区分	一般会計 経常経費				特別会計 -					
予算科目・事業	会計 1	一般会計	款 4	衛生費	項 2	清掃費	目 3	し尿処理費		
	大 2	し尿収集事業			中 1	し尿収集費		他 0 事業		
投入人員 (当該事務事業に対して1年間に投入した人員)	(R2以降)		前年度実績(千円)		本年度実績(千円)		増減理由(10%以上の場合)		次年度予算(千円)	
	正職員	3.55 人	27,719	2.70 人	21,455			3.10 人	24,633	
	任期付職員(保育士)	0.00 人	0	0.00 人	0			0.00 人	0	
	任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00 人	0	0.00 人	0			0.00 人	0	
	任期付職員(CW・水質)	0.00 人	0	0.00 人	0			0.00 人	0	
	再任用フル	0.85 人	3,157	1.70 人	7,737			1.70 人	7,737	
	再任用短	0.60 人	1,747	0.00 人	0			0.00 人	0	
	会計年度 1級フル	0.85 人	2,376	0.85 人	2,491			0.85 人	2,491	
	1級パート	0.85 人	1,685	1.45 人	3,045			0.85 人	1,785	
	2級パート	0.00 人	0	0.00 人	0			0.00 人	0	
人件費計(A)			36,684	34,728	0		36,646			
事業費	直接事業費(B)		1,148	1,223			1,455			
	総事業費(A+B)		37,832	35,951			38,101			
直接事業費のうち										
の主な歳出内訳			需用費	369	303			432		
			役務費	345	487			589		
財源内訳	使用料・手数料(受益者負担分)		0	0			0			
	国・県支出金		0	0			0			
	市債		0	0			0			
	一般財源		37,832	35,951			38,101			
	その他()									

6. 事務事業の事後評価★		
評価視点	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価	高い	法律（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条）に定められた市の業務である。 許可業者での対応可能であり、既に多くを許可業者にて行っているが、旧飯塚市の一部区域はくみ取り必要世帯に対して直営での収集を行っており、継続の必要が有る。
効率性 評価	高い	車両の買い替えやし尿くみ取りシステムの調整による、業務改善の余地がある。 法律に定められた市の業務であるため、他に替わる事業はない。
有効性 評価	高い	適正に事業遂行しており、施策に貢献できている。 災害等への迅速な対応、業務員の職場確保などを考慮し、今後も直営でのし尿収集業務は継続する予定である。

7. 前年度評価時の計画と実績			
前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	方向性	内容	
一次評価	⑤コスト・成果ともに現状維持	次年度以降に予算（コスト）を必要とせず、直ちに実施できる改善策 次年度以降に予算（コスト）増を必要とし、中長期的に実施する改善策	し尿処理手数料の口座振替の推進。 コンビニエンスストア・スマホ収納等の徴収方法の検討実施。
	前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度を実施できたこと、などを記入		

指導・啓発や訪問徴収の成果があり、滞納者の減に繋がった。

8. 今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★	
【成果】	滞納者への対応については、指導・啓発の成果があり、滞納者減にも繋がった。今後も継続していきたい。
【課題】	滞納者の料金未納がないように、コンビニエンスストア・スマホ収納等も視野に徴収方法をさらに検討していく。

9. 今後の事業の方向性と改善策	
成果の方向性	【理】 事業対象は、直営でのし尿収集を必要としている旧飯塚市の一部区域であり、今後、大幅な事業量の増加は予想されないことから、現状を維持しつつ、成果の拡充を図っていく。
現状維持	
コスト投入の方向性	【理】 し尿収集車や手数料システムの保守及び必要に応じた更新を図り、現状を維持しつつ、新たな徴収方法などを検討していく。
現状維持	

次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	し尿処理手数料の口座振替の推進。
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	コンビニエンスストア・スマホ収納等の徴収方法の検討実施。

評価変更理由	成果の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 「成果の方向性」「コスト投入の方向性」ともに1次評価のとおりとする。 コンビニ収納については、利用者のニーズを把握しながら検討すること。
	現状維持	
	コスト投入の方向性	
	現状維持	